

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書 令和2年7月20日 愛知県知事 殿 提出者 住 所 愛知県刈谷市神明町6丁目100番地 氏 名 代表取締役 竹内弘一 （法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 電話番号 0566-21-3541 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社サーテックカリヤ 小垣江工場
事業場の所在地	愛知県刈谷市小垣江町本郷下38-1
計画期間	2020年4月1日～2021年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	24 金属製品製造業
②事業の規模	2019年度売上 6,700百万円
③従業員数	530人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	腐食性廃酸→中和→業者委託（汚泥）→固化→管理型埋立 腐食性廃酸→中和→管理型埋立 腐食性廃アルカリ→中和→セメント燃料 特定有害廃アルカリ→熱分解→管理型埋立 特定有害汚泥→熱分解→管理型埋立

（日本工業規格 A列4番）

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

組織 : 工場(事業所)単位

社長



管理部部长



産業廃棄物処理責任者



特別管理産業廃棄物責任者



産業廃棄物(特別管理産業廃棄物含む)保管管理者

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(2019年度)実績】別紙の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・更新頻度の見直し		
②計画	【目標】別紙の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・更新頻度見直しの継続実施 ・液管理濃度の最適化の検討継続実施		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別可能な廃棄物は分別を実施済み
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・再利用できる廃液を分別する

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2019年度）実績】別紙の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・腐食性廃酸（塩酸・硫酸）の一部をPH調整剤として再利用		
②計画	【目標】別紙の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・社内処理を行っている、腐食性廃酸（塩酸・硫酸）について再利用率増を検討する		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（2019年度）実績】別紙の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・腐食性廃酸（塩酸・硫酸）を中和にて処理後、汚泥として業者にて委託処理している		
②計画	【目標】別紙の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・処理ではなく、再利用を検討する		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

① 現状	【前年度（2019年度）実績】別紙の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】別紙の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2019年度）実績】別紙の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・腐食性廃アルカリを処理業者にて中和処理後、セメント工場にて燃料として再利用している		

(第5面)

②計画	【目標】別紙の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者及び認定熱回収業者の積極的採用を進める		
電子情報処理組織の 使用に関する事項	【前年度（2019年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 （ポリ塩化ビフェニ ル廃棄物を除く。）	2,955 t	
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		
※事務処理欄			

別紙

(特別管理産業廃棄物)

小垣江
単位：t

種類		排出量(抑制)		自社							
				再生利用		中間処理				埋立処分	
		実績 (2019)	目標 (2020)			熱回収		減量			
				実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
1	腐食性廃アルカリ	1, 279	1, 150	—	—	—	—	75	80	—	—
2	特定有害廃酸	4	3	—	—	—	—	—	—	—	—
3	特定有害廃アルカリ	55	50	—	—	—	—	—	—	—	—
4	腐食性廃酸	1, 377	1, 240	252	260	—	—	932	940	—	—
5	特定有害汚泥	0	0. 5	—	—	—	—	—	—	—	—

種類		委託									
		全処理委託量		優良業者		再生業者		熱認定業者		熱認定業者外	
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
1	腐食性廃アルカリ	1,204	1,090	495	500	1,157	1,160	—	—	—	—
2	特定有害廃酸	4	3	4	3	4	3	4	3	—	—
3	特定有害廃アルカリ	55	50	55	50	—	—	55	50	—	—
4	腐食性廃酸	193	190	193	190	—	—	—	—	—	—
5	特定有害汚泥	0	0.5	0	0.5	—	—	0	0.5	—	—